

地方創生に関する特別委員会会議記録（概要）

平成30年8月20日（月）

開 会（午後1時30分）

【議 事】

(1) COOL JAPAN FOREST 構想について

中村委員長

審査に先立ち、ところざわサクラタウンについて現地調査を行うことでよろしいか。

（委員了承）

休 憩（午後1時32分）

（※休憩中に現地調査を行う。）

再 開（午後3時25分）

中村委員長

議事の1 COOL JAPAN FOREST 構想の進捗状況等の概要説明について経営企画部、建設部から周辺道路の整備状況、今後のスケジュール等についての説明をお願いします。

【概要説明】

吉川経営企画
課主幹

資料1、平成30年度予算におけるCOOL JAPAN FOREST 構想関連事業について説明します。こちらについては、平成30年度予算におけるCOOL JAPAN FOREST 構想に係る事業の一覧表としてまとめた資料となっております。

①COOL JAPAN FOREST構想推進事業としては、啓発事業として、ところざわ文化創造会議の委託業者選定をプロポーザルで行い、10月30日の開催に向けて準備を進めております。併せてノベルティグッズの作成を行い、文化創造会議等で配布し、啓発を進める事業として、平成30年度予算額については、674万6,000円を計上しております。

②旧コンポストセンター跡地利活用事業(COOL JAPAN FOREST構想事業)について、解体工事については解体工事業者が決定され、7月から来年4月末までを解体工事期間として行われる予定です。4月19日より募集を行った、旧コンポストセンター跡地利活用事業については、今月、優先交渉権者が決定され、公表されました。こうした事業として、平成30年度予算額については、4億4,688万1,000円を計上しております。

③インバウンド戦略推進事業としては、留学生を対象としたモニターツアー事業として5月に実施され、茶摘み体験やうどんづくり等が行われたようです。今後は、秋、冬とモニターツアーの開催を予定しているということです。このほか、インバウンド誘致方策の調査・研究とした事業や、訪日外国人観光客の受入れセミナーを事業者向けのセミナーとして、開催する事業を予定しており、インバウンド戦略推進事業としては、平成30年度予算額について、110万円を計上しております。

④観光魅力発信事業のCOOL JAPAN FOREST構想分と

しては、アニメツーリズム協会の参加負担金として平成30年度予算額は15万円を計上しております。協会で開催されるイベント等でのポスターの掲示やパンフレット等の配架といったPRを行う予定ということで、事業として計画しております。経営企画課からは以上です。

加藤道路建設
課長

建設部のほうは、資料1の⑤から⑦です。⑤のCOOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業については、別に資料があります。

こちらで説明させていただきます。COOL JAPAN FOREST 構想における周辺道路で整備を検討している路線は、資料の位置図に示しております、東川沿いの市道2-572号線、松郷橋から国道463号バイパスへ向かう市道2-996号線、市道2-996号線と十字に交差する市道2-561号線の3路線です。

市道2-572号線ですが、平成29年度に詳細設計が完了したので、平成30年度より案内図に示しております区間について整備工事を行ってまいります。整備方法としては、資料の中段に標準の断面図を示しておりますが、ところざわサクラタウンや旧コンポストセンター跡地の施設のオープンにより、この路線の交通量の増加が予想されますことから、歩行者の安全な歩行空間を確保するため、今の道路を河川側へ広げ、河川と反対の南側に1.6mから2.5mの歩道を設置してまいります。

河川側へ道路を広げることになりますので、東川の護岸へかかる道路からの荷重がふえ、今の護岸では強度が足りないということがわかりま

したので、東川の護岸を強い物に変更する工事も併せて行います。

工事の期間については、一番下にスケジュール、工程表が書かれておりますが、ところざわサクラタウン及び旧コンポストセンター跡地施設のオープン前の完成を目指すこととし、護岸工事は川の水位の低い渇水期である平成30年11月から平成31年6月まで、道路拡幅工事は、護岸工事完了後の平成31年7月から平成31年10月までを予定しております。

次に、市道2-561号線と市道2-996号ですが、この2路線については、旧コンポストセンター跡地に建設される駐車場を利用する観光バスの将来的な通行ルートが決定されました。案内図に示しております、太い矢印がそのルートですが、この区間について優先的に整備を進めてまいります。

平成30年度は、平成29年度に行った概略設計をもとに、詳細設計を進めてまいります。以上が、周辺道路整備事業です。平成30年度の子算としては、1億4,719万4,000円です。

続いて、東川桜舞う遊歩道事業です。平成30年度は、コンポストセンターの東川に面する市道の松郷橋から下流に向かって150mの区間、資料は位置図⑥になりますが、この150mの区間についてウッドチップを敷き、遊歩道としての整備を進めてまいります。

また、7月に松郷工業団地に面する区間の、そこにも桜がたくさん植えられていますが、そちらの区間の伸びすぎてしまった桜の枝を剪定し

ました。東川桜舞う遊歩道事業は平成30年度、800万円の予算を計上しております。

自転車レーン整備事業ですが、平成29年度、30年度の2カ年で、東所沢駅前通りについて、ラインや矢羽マークを設置し、自転車レーンの整備を行ってまいります。

平成29年度は、県道所沢青梅線「東所沢駅入口」交差点から北へ向かって、東所沢中央交差点、武蔵野銀行がある交差点になりますが、そこまでの430mの区間について整備を実施しました。

平成30年度については、東所沢中央交差点からさらに北へ向かい、国道463号バイパスまでの800mの区間について整備を行います。平成30年度は1,411万4,000円の予算を計上しております。

【質 疑】

平井委員

総予算というものがよくわからないが、例えば資料1の12億円と合計が出ていて、今説明された自転車レーン整備事業が1,400万円なのだが、もう一つ、COOL JAPAN FOREST構想関連で平成31年、32年、33年で未定、未定、未定とあり、⑤の周辺道路整備事業も平成32年、33年と未定、未定で、今現在のこの総額が12億6,295万8,000円にプラス、1,411万4,000円が現在までのかかったお金とみてよいのか。将来的には未定、未定がどうなるのか。どうなっていくのかわからない。わかる範囲で教えていただきたい。

市川経営企画課長 ここにある12億6,000万円というものについては、道路等は実施設計が出ないと金額が出ないというところもありまして、⑤でいくと平成32年、33年の金額が未定となっておりますが、そのあたりの部分もありますので、今の予定されている金額として12億6,000万円という金額がありますけれども、ここに実際に工事費等が入ってきて、金額を確定してくるというものです。

⑦の自転車レーン整備事業については、もともと、COOL JAPAN FOREST構想の関連事業として位置づけているものではないのですが、エリアがちょうどこのCOOL JAPANのエリアに接しているものですから、関連した事業ということで、⑦と一緒に御紹介させていただいているものです。

平井委員 来客数が約100万人と見込んでいると前からあるのだが、駐車場の設置が150台と現場で説明されていて、100万人来るとなると、月にして9万人ぐらいで、1日で2,700人から3,000人ぐらい来る。そうすると、駐車場が少ない気がする。皆が皆、車で来るとは限らないけれども、規模に照らして150台というのは少ないと思うが、いかがか。

市川経営企画課長 車両の台数については構想の冊子を作成しました平成27年度に交通量の調査等を行っておりますけれども、一時期に全員がいらっしゃるわけ

ではないので、時間がシフトしていく中で、150台レベルでところざわサクラタウンの来場者についてはカバーができるだろうという想定をしております。当然、全員が車で来るわけではありません。徒歩圏内、電車で来場、内訳を区切った中で、自動車で来る人数としては34万3,000人を年間の来客数とみております。電車の来場者は40万人としております。

城下委員

関連なのだが、最初に平井委員から事業費の話があった。工事費はこれからだと話があったが、平成30年以前にもいろいろCOOL JAPAN関連予算は国の地方創生交付金等も利用しているので、現段階で総額としてはどれぐらいか。

市川経営企画
課長

決算額で申し上げますと、平成27年度から平成29年度までの3カ年合計の金額では3億8,281万円が決算額となっております。そこから今回の資料でいきますと、今後12億円ということになりますので、約16億円の金額ということになります。

城下委員

そうするとそれにプラスまた工事費がこれから入ってくるということだと思う。ちなみに、⑤の周辺道路整備事業については平成32年、33年が未定ということだが、どういう工事が予定されているのか。

加藤道路建設
課長

平成30年、31年の1億4,700万円と、7,000万円については、市道2-572号線の詳細設計ができ上がって、ほぼ正確な数字が出ておりますのでこの予算で整備してまいります。平成32年、33年の未定の時期は、市道2-561号線と市道2-996号線の将来的なバスルートとして決定されている区間についての整備を行っていく予定です。

城下委員

今日現地に行ってKADOKAWAの方にも説明をいただいたが、当初あそこの中に保育園等の施設整備を市がお願いしたということで、KADOKAWAについてもそれは了承したということなのだが、現地でKADOKAWAの職員に聞いたところ、学童という話があった。市は保育園を要望していたのか。そのあたりの経過と現状どのような報告がきているのかお聞きしたい。

市川経営企画
課長

土地を売却する際に、募集要項の中で子育て支援にかかわる機能等に配慮してくださいといった文言で設定したところ、KADOKAWA側の提案として保育園等の施設を設置しますという提案が出されてきたところでは。その後、企業内や立地上で保育園の需要と学童等の需要を踏まえて、所沢市の方から、学童の設置ではいかがか、といった話もあった中で、現在、KADOKAWAの方では、学童で計画を進めているというところでは。

城下委員

流れとしてはいわゆる民設民営でいくわけだと思う。そうすると、運営自体はKADOKAWAになるのか、どういう情報がきているのか。2020年オープンと併せて学童もオープンをする予定で、となると、2019年度あたりから募集みたいなものは始まっていくという理解でよろしいか。

市川経営企画
課長

運営主体については、民設民営ということになるかと思いますがけれども、KADOKAWA自体が運営するというよりは、そういった学童の運営を行った実績のある事業者等に募集をかけて、そこに入るという形になるかと思います。民設での学童ということになりますと、その事業の認可、そのあたりについては間に合うような形で、2020年オープンと併せて事業開始を目指しているようですので、それに見合った時期に手続きを進められるものと考えております。

浅野委員

②旧コンポストセンター跡地利活用事業の解体工事とPFIを行う業者が8月中に決まったという話だが、もう少し詳しく説明いただきたい。どういう方法で何者ぐらい応募して、どこに決まったのか。

市川経営企画
課長

コンポストセンターの工事自体については産業経済部商業観光課が所管をしておりますので細かいところまで私も承知していませんが、解体事業者については、西武建設株式会社が受託をしていると伺

っております。P F I での整備の方の事業者については、現在のところ優先交渉権者が決定したという段階でして、こちらについては1者だけの応募であった中で、選定が行われたというところです。まだこちらについては見積り合わせから契約には至っておりませんので、金額等についてはまだ確定はしていないところです。

浅野委員

確定したら企業名がわかるのか。

市川経営企画
課長

企業名については公表されておまして、8月13日付けで代表企業が平岩建設株式会社、構成員としまして、株式会社松下設計と株式会社クリーン工房です。

浅野委員

予算の見方で、平成30年度に4億4,688万1,000円がかかって、31年度に4,900万円かかるのか、これ全部をまとめて4億円なのか。

市川経営企画
課長

平成30年度の4億4,000万円及び31年度の4,900万円については、あくまでも主な金額としては解体工事の金額ということになります。平成32年度以降については、P F I による施設の設置及び管理委託等の金額ということになりますので、ここについてはこの後、確定をしていく形になります。

浅野委員 毎年、管理PFIの会社がこの金額で、平成34年、35年もずっとそういう、年度、年度でこのぐらいの管理費で委託するということか。

市川経営企画
課長 その後の通年の管理費については、見積り等をいただいた後で金額が確定していくので、あくまで見込みで今4,195万3,000円という金額が載っておりますけれども、おおむねこの金額のレベルというように考えていただければと思います。

浅野委員 聞きたいのは、正確に4,000万円ではないとしても、毎年、平成34年、35年もPFIの事業者に市の方でお金を払っていくということなのか。

市川経営企画
課長 費用については、主に平成32年度に施設を整備する金額の大半と、その後の維持管理費用を平準化して支払っていくという形にはなります。もとの金額はまだ確定しておりませんが、それがこの後、例えば、10年間の期間であれば10年間で分割して、毎年4,000万円を払っていくという形になると思います。

城下委員 PFIのことで、橋の予算もこの中に入っているのか。別枠になるのか。半分半分でやるという話を予算特別委員会で聞いたような覚えがあるが、

| | |
|----------|---|
| | その金額というのはどこに出てくるのか。 |
| 市川経営企画課長 | 人道橋、川を渡る歩道橋の部分については、施工自体はKADOKAWAが実施をして、その後に半額を負担金として市から入れる形になっておりますが、この金額の中には今の段階では計上されておられません。 |
| 城下委員 | 今後新たに出てくる負担金になるということか。 |
| 市川経営企画課長 | 今後、負担金については、施工の工事の金額が確定した段階で、そのあたりも併せて計上されてくることになるかと思います。 |
| 城下委員 | 学童の話の中で、2020年に間に合わせるようにしていきたいという話があったが、このスケジュール表で見ると、2020年7月にところざわサクラタウンがオープンとなっているので、年度途中になるわけだが、学童も7月オープンになるのか。 |
| 市川経営企画課長 | 建物自体は4月竣工というようなことで伺っておりますが、学童の運営開始の時期まではその4月になるのか7月になるのかといったところまで伺ってはおりません。 |
| 吉村委員 | 道路建設の方で、⑤の、後で工事の入る996号線と561号線の具体 |

| | |
|--------------|---|
| | 的にどういう工事をするのか。 |
| 加藤道路建設 課長 | 大型の観光バスを通すとなると、まず一つとして、東川会館がある交差点では、大型バスがコンポストセンターから出てきた時に左折ができないので、交差点改良をすることになります。それと併せて大型バス等の交通量がふえますので、歩行者の安全を確保するという事で、歩道の整備を考えております。 |
| 吉村委員 | 道路自体の拡幅はしないで、東川会館のところは隅切りをするというようなことか。 |
| 加藤道路建設 課長 | 歩道を設置するためには、拡幅をすることになります。拡幅と、交差点改良による用地買収をします。 |
| 市川経営企画 課長 | 先ほど、ブリッジの予算のことで答弁させていただきましたが、平成30年度の予算の中にブリッジの建設の設計の部分の負担金で2,000万円の計上が含まれております。平成31年度以降のところには工事の負担金については含まれておりませんので、工事の部分については計上されておきませんが、ブリッジの設計に関するお金はこの金額です。ことしの4億4,688万1,000円の中には、ブリッジの建設負担金としまして、2,000万円は計上しています。これは、内訳としては、予備設計及び |

| | |
|--------------|---|
| | 実施設計ということです。 |
| 城下委員 | 設計ということなので、建設については今後ということによろしいか。 |
| 市川経営企画 課長 | 平成30年度、実施設計を行った後で、工事の金額が出てきますので、それについては翌年度以降に計上されていくという形になります。 |
| 亀山委員 | 2-996号線からコンポストセンターの方へ向かって行く時に、将来的、あるいは暫定的にと書いてあるが、おおよそ、いつごろを目途にと考えているのか。996号線、ここは今、何もしていない状況だが、ここが何年ぐらい使われて、少しは線を引くとか何かしらの改良をすることはあるのか。 |
| 加藤道路建設 課長 | 何年の内に将来的なバスルートが整備されるかについては、これから地権者と交渉に当たりますので、交渉がスムーズに進めば3年、4年といったスパンで整備は進むかと思えます。その間ずっと市道2-996号線をバイパスのところまで暫定的なルートとして使用することになりますが、まずは優先的に進める路線としては、将来的なバスルートを優先的に、整備を進めてまいります。 |
| 亀山委員 | 将来的なバスルートができるまでの間、暫定的なところを使っていくと |

思う。現状の、そのままを利用するのか、それとも少しは手を入れて整備していくのかということだが、いかがか。

加藤道路建設
課長

そのまま、何も整備をせずに通れます。幅員的には通れますので、バイパスの新郷交差点については、コンポストセンターから帰り道、左折はできず右折しかできないのですが、右折できますので、浦和方面にしか曲がれませんけれど、暫定的なバスルートとしてこちらは使わせていただきます。

亀山委員

東所沢公園の事が全然載っていないが、最初聞いていた頃は、東所沢駅から動線として東所沢公園を使いながらKADOKAWAの方へ行くというふうに言われていたと思うが、東所沢公園が、今、どういった議論があって、今後、どのような公園の整備がされていくのか。

埜澤建設部次
長

委員のおっしゃるように、駅からの来場者は東所沢駅から東所沢通り、そして東所沢公園を通過して、そこからところざわサクラタウンへ入ってくるというルートが想定されますので、通路の確保という部分では、必要な整備があると考えております。今の段階で、考えられるのは、公園の東側から入って、西側のところざわサクラタウンの方へ抜けていく通りが、途中まで8 mぐらいの通路がありまして、真ん中に噴水があり、その先の西側、ところざわサクラタウンにつながっているところが、幅が3 mに狭ま

っております。そういったところを、まず人が押し寄せてきた時に安全に人に通っていただけるように、通路の幅の確保をするといったところは最低限必要だと考えております。

城下委員

⑤周辺道路整備の平成32年、33年の未定の部分の話で、暫定的に利用するということでは、オープンが2020年だから、平成32年ということで、オープンの時も未定になっているという事は、しばらく暫定的利用の状況を見て、工事するかどうかも含めて着手、検討していくというような考え方でいるのか。今の段階からここは用地買収もしてやっていくというような立場でいるのか。

加藤道路建設
課長

バスルートについて、産業経済部のほうでことしの6月にここを将来的なバスルートにしますという決定がされましたので、こちらについて、できるだけ早い段階で整備を進めようと考えております。整備が終わるまでの間は、市道2-996号線の暫定ルートを使わせていただくこととなります。おそらく、オープンまでにこの将来的なバスルートの整備が終わらないという見込みですので、整備までの間は暫定的なルートを使わせていただく考えになります。

亀山委員

私はよく車でここを使うのだが、交差点から入ってくる時に、角度がかなりきついということで、たまに歩いている人がいる、そうすると、トラ

ックやバスがすれちがう時、危ない。どちらから来ても大きく回るので、少し整備が必要ではないかと思うのだが、そういう検討はしないのか。

加藤道路建設
課長

今のところは、暫定的なルートについては、整備について考えておりません。例えば用地買収して、歩道を設置するとか、そういうところまでは今の状況だとできないと思いますので、何か、例えば、道路幅員の中でラインとかそういうもので対応できることがあれば、考えていきたいと思えます。

城下委員

観光バスはどれぐらいを想定しているのか。現状のままで観光バスが来るとなると、一日当たり何台ぐらいがあそこの道路を通るかというのを、平成27年に交通量調査をしていると思うが、しかも車で来る人たちの数字も出てきているので、ある程度の台数の想定があるのではないかと思います。いかがか。

市川経営企画
課長

構想作成の段階でのバス来場者の数の想定ですが、年間3万人で想定しております。繁閑ありますが、3万人を例えば200日で割った場合、一日当たり150人がバスで来る、大体観光バス3台平均というようなイメージです。土日はふえるということもあるかと思います。

城下委員

バスの駐車場は何台か。

市川経営企画
課長 詳細設計自体はでき上がっておりませんが、もともとの募集をかけた際の市側の想定で観光バスについては、7台程度という想定です。

浅野委員 ホテルの部屋数が33と聞いたが、以前100ぐらいでリムジンバスも来て、そこに泊まるというようなお話だったが、リムジンバスは来る予定はないのか。

市川経営企画
課長 ホテルをどういうお客さんを想定するかについて、今後、KADOKAWAの運営の仕方にもよるかと思いますが、現在私どもで伺っている限りでは、いわゆる100室200室といった大きいビジネスホテルのようなものをつくるのではなく、33室という限られた数字の中で、アニメホテルのような形で、コンセプト型のホテルで、その部屋に泊まりに来ることを目的としていただくというようなことを想定されていると伺っております。ですので、どちらかという大量の観光客がリムジンバスでやって来て全員を泊ませるというよりは、1部屋を、ガンダムの部屋に絶対に泊まりたいみたいな人をお客さんとして対象にしていくようなことを考えていると伺っております。

浅野委員 観光バスだといろいろなバスがあるから可能性があるけれど、リムジンバスだと西武バスだとか、そういう成田から出たりするところとコースと

か、今から交渉しておかなければならないと思うが、そういうことはしていないのか。以前と変わったのか。以前はそういう話があったと思うが、いかがか。

市川経営企画
課長

成田から直接乗りつけるようなバスツアー等もKADOKAWAで考えていると伺っております。現在、KADOKAWAが関連したバス会社でWILLER株式会社というバス会社と連携して、株式会社クールジャパントラベルという会社を立ち上げておりまして、その会社が企画するツアーを、ところざわサクラタウンを目指してやって来るお客さんにも利用していただくというようなことを考えているようです。リムジンバスで乗りつけた場合には、ぜひコンポストセンターの跡地に作られる駐車場等も活用いただければと考えております。

大石委員

COOL JAPAN FOREST構想は連携に関する協定というのを結ばれていて、地域と調和した環境づくりに関すること、観光の振興に関すること、文化教育人づくりに関すること、産業振興に関すること、その他地域の活性化に資することということで、結ばれているが、今説明を受けたのは周辺の道路の安全とか、当然やらなければいけないことで、駐車場のコンポストセンターの整備とかそんなことも必要だと思うが、今言ったのはある程度、ハードの整備だと思う。まだまだ、ところざわサクラタウンのオープンまで2年、地域の方々にはどのようなイメージで、2

年後、どのような状況になるのか、おそらくオープンしてからはしばらく混雑するだろうから、それから、今まで来なかった観光客が年間70万人から150万人ぐらいの人たちが来るということで、併せて、東南アジア、中国系の方々の観光客が30万人、50万人来るのではないかと思います。そういう方々に対して、地域に対するCOOL JAPAN FOREST構想半径500mの人たちに対する2年間の働きかけをどういうふうにしていくのか、改めて今の考えを説明していただきたい。

市川経営企画
課長

実際に、いわゆる工事の説明会や構想の説明会等、地元を通して開催させていただいている中で、今後のエリアイメージ等は御説明させていただいているところですが、この後、ところざわサクラタウンの事業の具体的なものというのは、次第にKADOKAWAの方でも固まり始めているようですので、そのあたりを併せて、地元向けの地元説明会等も開催させていただいて、御理解をいただいでいくというようなことがまず一つあります。もう一方で、このエリアに対しての、いわゆる商業的な振興の部分というところで、現在、所沢市茶業協会等とも、毎月のミーティング等もさせていただいているところです。商業、いわゆる商店会の立ち上げ等についても、地元の方々と対話をもっていきたいと伺っておりますので、そういった機会を通じてさまざまな御意見、また、KADOKAWAの考えている現在のイメージするようなものというのを伝えていければと思っております。

大石委員

もともと、東所沢というところは、西武線沿線の所沢駅周辺に比べて、ある程度沿線の色があるようで、私は、駅頭で活動していると、所沢駅東口はゴミが多いなと感じている。ということで、そういう中で、地元の方々が、外国人の方々に対する、非常に心配をされるのではないかと。これもところざわサクラタウンが永遠に続いていって、この地方創生ということでまさに成功して、日本全国に発信していくためには、地元の方々と安全対策、まず安全対策がとても心配だと思う。その点はどのように、例えば、まさにこのエリアだけでは安全対策を第一に考えて、監視カメラを設置するとか、例えばだが。地域の方々と連携が一番大切だけれども、何か一つ、地元の方々と考えていくべきではないかと思うが、いかがか。

市川経営企画
課長

海外観光客の受け入れというところについては、ことしちょうどインバウンド対策の予算をつけておりまして、商業観光課のほうで現在、コンサル等を入れることも含めて、インバウンドを受け入れる上での課題等の整理もこれから行っていくところです。その中で、地元の方々の受け入れ態勢であるとか、その地域としての対応の仕方のような部分で、さまざまな御意見を伺っていかなければならない部分があると思いますので、その中で必要な設備の設置であるとか、そういうものを一緒に考えていければと考えております。

大石委員

まだまだ、地元の方々というのはイメージできていない、説明を受けてもまだほとんどわからない状態だと思う。外国人観光客がふえてくるというのもイメージできていない状況で、ふえたらどうなるのか、というような状況もある。商業観光の面から含めても、幸い、商店街をつくる動きというのも出てきて、ありがたいのだが、人づくりに関することというのは、例えば外国語をしゃべれるだとか、周辺整備のサイン、看板等もそうだが、人づくりに関すること、地域の方々とどのようにこれから2年、ハード整備はある程度見えてきたけれど、その点の連携、COOL JAPAN FOREST構想の連携に関する協定書の中に、こうやって人づくりに関することというのをやってきているのだが、その部分はどのように取り組むのか。

市川経営企画
課長

現在、KADOKAWAのほうでも地域の防犯的な面であるとか、そういうところを会社の方でプロジェクトとして掲げておまして、そういった話もTEAM STARTの中で御紹介いただいているところです。当然、それはKADOKAWAにだけ任せるというものではありませんので、所沢市としても地域の防犯体制、また、観光客を受け入れていく中で防犯の考え方というの整理をしていく必要があると考えております。今日の資料1、③インバウンド戦略推進事業の中に、訪日外国人観光客受け入れセミナーを地元の事業者向けにも実施する等して、意識の醸成を進めていければと考えております。まずはそういったところに着手していき

いと考えております。

大石委員

セミナーの、スケジュール等をどうやって地元の方々に説明していくか、この2年間の大体のスケジュールが決まっていたら教えていただきたい。

市川経営企画
課長

2年間の長い期間でのスケジュールというものはまだ組めていないところですが、平成30年度の事業としてまず、10月頃に開催する予定で伺っております。

大石委員

ところざわサクラタウンはKADOKAWA、民間を通してやってもらえばよいので我々はあくまで、半径500m以内をどういうふうに、地方創生の全国に発信するお手本ではないけれども、そういう民間と連携した中で、地域の方々と一緒にどうやって連携するのが大切なことで、では、他に何か半径500m以内で考えられていることがあれば、伺いたい。

市川経営企画
課長

COOL JAPAN FORESTのエリア半径500mという中においては、もともと土地利用転換の推進エリアというものがちょうど含まれているような立地です。構想の中心にもなるところですが、ところざわサクラタウンだけではなく、住むところと働く場所、いわゆる産業の場所も併せてつくっていくところで、職住近接のまちをつくっていききたいと

というのが、この構想の根幹をなしているところです。今のお話でいきますと、まずは松郷工業団地周辺の産業用地の拡大というところから始めていくことになるかと思いますが、そのあたりを土地利用推進室が進めているところでもありますので、また具体的な動きが見え始めた時にはお知らせしていくことになると思います。

大石委員

半径500m以内の安全道路整備も大体わかってきたが、東所沢駅前通り線、東所沢公園のサイン関係、看板等、いろいろこれから、前にKADOKAWAの会長がおっしゃっていたのは、境港市のように妖怪のブロンズ像を置いたりだとか、時をかける少女とか、金田一耕助とか、いろいろモニュメント像とかまちづくりができるのではないか、例えば照明一つとっても、サザエさんの商店街ならサザエさんに関係する照明をつくったり、ウルトラマンに関する照明をつくったりだとか、いろいろなところで特色のあるまちづくりを進めていくわけだけれど、今、そういったサイン関係とか、そういったことは検討されていないのか。

市川経営企画
課長

周辺の誘導も含めたサインについては、TEAM STARTでもこれまで何度となくお話に出ておまして、具体的にどういうふうに誘導していくかというルート等が定まってくれば、必要な箇所に設置していく必要があるだろうというような議論はしているところです。一方の、コンテンツを使ったモニュメント等については、KADOKAWAのほうとして

も、当初のアイデアでは歩道のところにオブジェ等を置いてやるというものも一つのアイデアとしてあるというような話はありませんけれども、そこを、単にオブジェを置くのか、それとももっと、違うアトラクションの形をもちながら、あそこを歩いていくのが楽しくなるようなアイデア等も、現在、提案されているところですので、そのあたりも固まり次第、お知らせしてまいりたいと考えております。

大石委員

島田委員が以前質問していたが、Wi-Fiの設置、エリア等はどうなっているのか。半径500m以内どの程度なのか。

市川経営企画
課長

Wi-Fiの設置については、場所によっては市が設置するものと、例えば、ところざわサクラタウンのエリアの中であればKADOKAWAが設置するというところがあると思いますので、所沢市として今、考えているのは、東所沢駅前周辺のところは少なくとも設置をしていきたいと考えております。東所沢公園のエリアといったところが候補として挙げられると思います。民間のお店の中はそれぞれの事業者が設置をしていくような、例えば手助けになるような支援をしていくというアイデアはありますので、そのようなところで設置の推進をしていくものです。

浅野委員

昔、東所沢公園を見に行ったら、使わなくなった噴水が危なく放置されていた。今もあるのか。取るとかしないと、みつももないし危ない。

嶋村建設部長

今、公園の中に噴水はあります。今は水を出していない状態です。今後、動線関係を整備していく中では、方向としては、なくして通りやすいような形にしていく方向になろうかと思いますが、詳しいところは今後詰めさせていただき、レイアウトを考えていく中で検討していきたいと思えます。

【質疑終結】

(執行部退室)

(2) その他

中村委員長

特別委員会と一般質問のあり方については、良識に任せることとなっているため、御配慮いただくようお願いします。

散 会 (午後4時25分)